



SMILE * LINK 日本の笑顔を守りたい!



公認予定候補 とくら たかこ (47歳・新)

**おかしいところは
声を上げよう!**

もともと好奇心は旺盛だが「ふつうの主婦」だった。8年前、徳山の中心市街地にある古いビルの再生アイデアコンペをやるうと集まった仲間と、まちづくりグループ「周南ねっと」を立ち上げる。駅ビルにミニFM局を開局したり、住民の熱意とアイデアによる「まちの活性化に挑戦。市町村合併後のまちづくりを考えるフォーラムも主催した。

「行政とは連動せず、ボランティアのイベント屋さんっぽい見え方でした」。ちよつと自治体でクォータ制が意識され始めた頃で、たくさんの審議会から委員にと声がかかるようになる。「政治の素人だし、行政側にとつて都合のいい女だったのかも(笑)」。

でも、場数を踏み、たくさんの人と出会う中で、「ふつうの主婦が育っていくのを我が身で実感」。「市民が力をつけて声を上げる癖を



シンポジウム「女性が参加する時代」にて平岡秀夫衆院議員と (11/5)

まだ間に合うかもしれない

営化法案をめぐる解散劇に、小泉改革への怒りに起爆スイッチが入る。全国のブロガーと連動して「日本

張って、「STOP THE KOIZUMI」を仕掛ける一人となる。9・11の選挙での惨敗の結果に無力感に襲われたが、「あきらめずに怒り続け、一人ひとりの底力を信じよう」と共謀罪や年金不正処理問題に、その都度、怒りの声を上げて続けてきた。

「この一年半のブログは、恥ずかしいけれど、私の成長記録でもあるんです」。出馬が決まった今、ブログ仲間から激励とともに

「過去の発言を消しては？」とアドバイスも届く。「無知からの間違いや、民主党の悪口も書いています(笑)。でも間違いは訂正すればいいし、日本のためには民主党も変わるべきと言いつつ続けたい」。

ふつうの市民の視点で 生活に根ざした思いと、国民の側に立つという当たり前のことを大切にしたい。山口で勝つことは、安倍首相の首を獲るといふこと。「二大政党で政権交代していくためにも、山口の反自民層の受け皿になります」。

ひるみそうになる自分の気持ちに壁。持ち前の笑顔を武器に力を尽くしたい。

つけなければ」と目覚めた。平成15年春、2市2町が合併して周南市誕生。議員報酬の高額一律化への怒りから、署名を集めて市議会を解散に追い込む。この成果は、全国の合併協議にも影響を及ぼした。

**語り&論じ合い、
つながる力を信じたい**

昨年5月から、インターネット上の日記「ブログ」を書き始めた。夏、郵政民

◆PERSONAL DATA◆

経歴/1959年 周南市櫛ヶ浜生まれ・A型。県立徳山高校、図書館短期大学卒業。旧徳山市インパク出展実行委員会委員長、山口県男女共同参画審議会委員等を歴任。98年「周南ねっと」代表、03年 議会解散運動「周南のよあけを導く会」代表。土地家屋調査士事務所勤務。
http://www.shunan.net/takako/index.htm
「とくらBlog」 http://ttokura.exblog.jp/
連絡先/周南市梅園町2-52-3
TEL.0834-32-6071
家族/夫、長男(大3)、次男(中3)、長女(中1)、夫の母
政権を奪ったら就きたい役職/外務大臣。戦争が起きないように、平和外交を推進したい
好きな言葉/「わたしたちは微力だけれど無力ではない」
会いたい人/故 市川房江さん
好きなスポーツ/高校時代はハンドボール部のキーパーとしてインターハイに出場
心に残る映画/「スティング」 P・ニューマンのファン
心に残る本/『もう一つの日本は可能だ』内橋克人著を読んで「危ない!」と叫ぶことの意味を知り、目からウロコが落ちた
行きたい場所/大津島に仲間が作った1日1組しか泊まれない宿「只只」でのんびりしたい。目の前は回天の発射訓練基地

